

仙台市

令和の町内会講座

多様な世代が関われる町内会活動

2024年12月1日



酒本 宏

KITABA

全国1200以上の町内会・自治会の皆さんと意見交換

酒本 宏(さけもと ひろし)

- 株式会社KITABA 代表取締役
- 技術士(都市及び地方計画部門・総合監理部門)
- 北海道大学工学部非常勤講師(コミュニティデザイン)
- 北海学園大学非常勤講師
- 札幌市 まちづくりセンターアドバイザー
- 一般社団法人 北海道観光を考えるみんなの会 事務局長
- 札幌市内の町内会の総務部長

- 2013年 町内会による加入促進活動支援事業企画運営
- 2014年 札幌市、仙台市、函館市、千歳市、上富良野町、滝川市、
砂川市などで町内会活性化関連の講演などを多数
- 2020年 札幌市町内会アドバイザー派遣業務(～継続中)
- 2021年 横浜市瀬谷区、埼玉県戸田市、北海道斜里町で講演
- 2022年 仙台市、栃木県宇都宮市、砂川市、余市町、斜里町などで講演・ワークショップ
- 2023年 札幌市町内会アドバイザー派遣業務、久留米市、堺市、川崎市、仙台市、
石巻市、盛岡市、大阪市職員研修、函館市職員研修などで講演・ワークショップ



今日の話題提供

1. コミュニティはいま
2. 多世代が参加する町内会

町内会運営は分岐点

コロナ禍を越えた町内会

町内会運営は多数の選択肢

令和の町内会

加入率低下
担い手不足

コロナ禍で活動を休止
デジタル化

ライフスタイルが大きく変化

1. コミュニティはいま

(1) コミュニティを取り巻く現状

交流・環境美化など

基本
機能

基本
機能

地域
課題

高齢化



防災体制



地域
課題

少子化



ヤングケアラー



地域
課題

孤独・コミュニティの場



基本
機能

(2) 町内会の活動がコミュニティの価値を高める

コミュニティの価値を高める



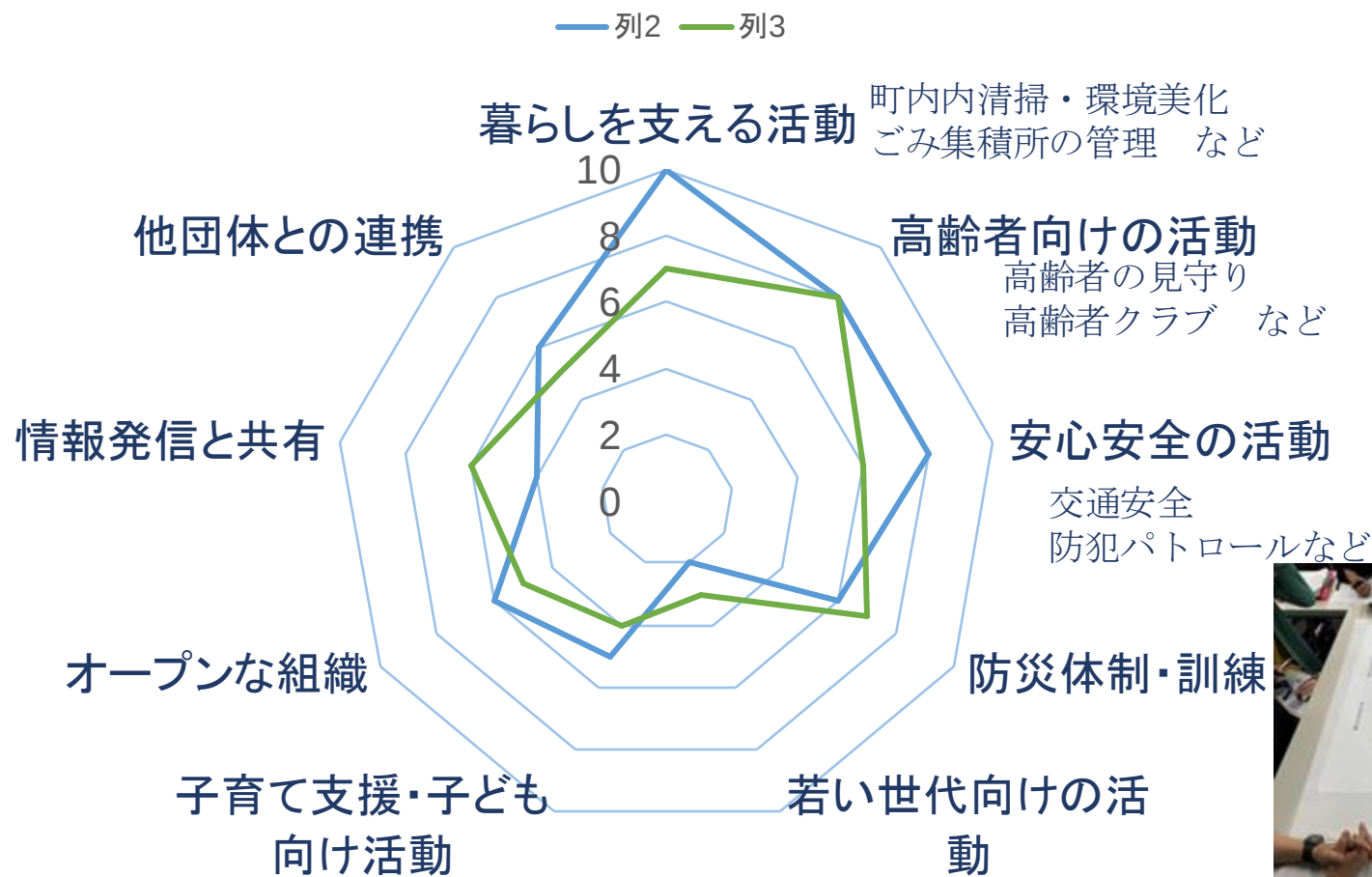
住んでみたいまち
住み続けたいまち



安心・安全なコミュニティ
適度な人のつながりと交流
災害時の助け合い
楽しい暮らし

地域コミュニティの中心的な担い手の町内会

(3) 全国の町内会・自治会でレーダーチャートをやってみた

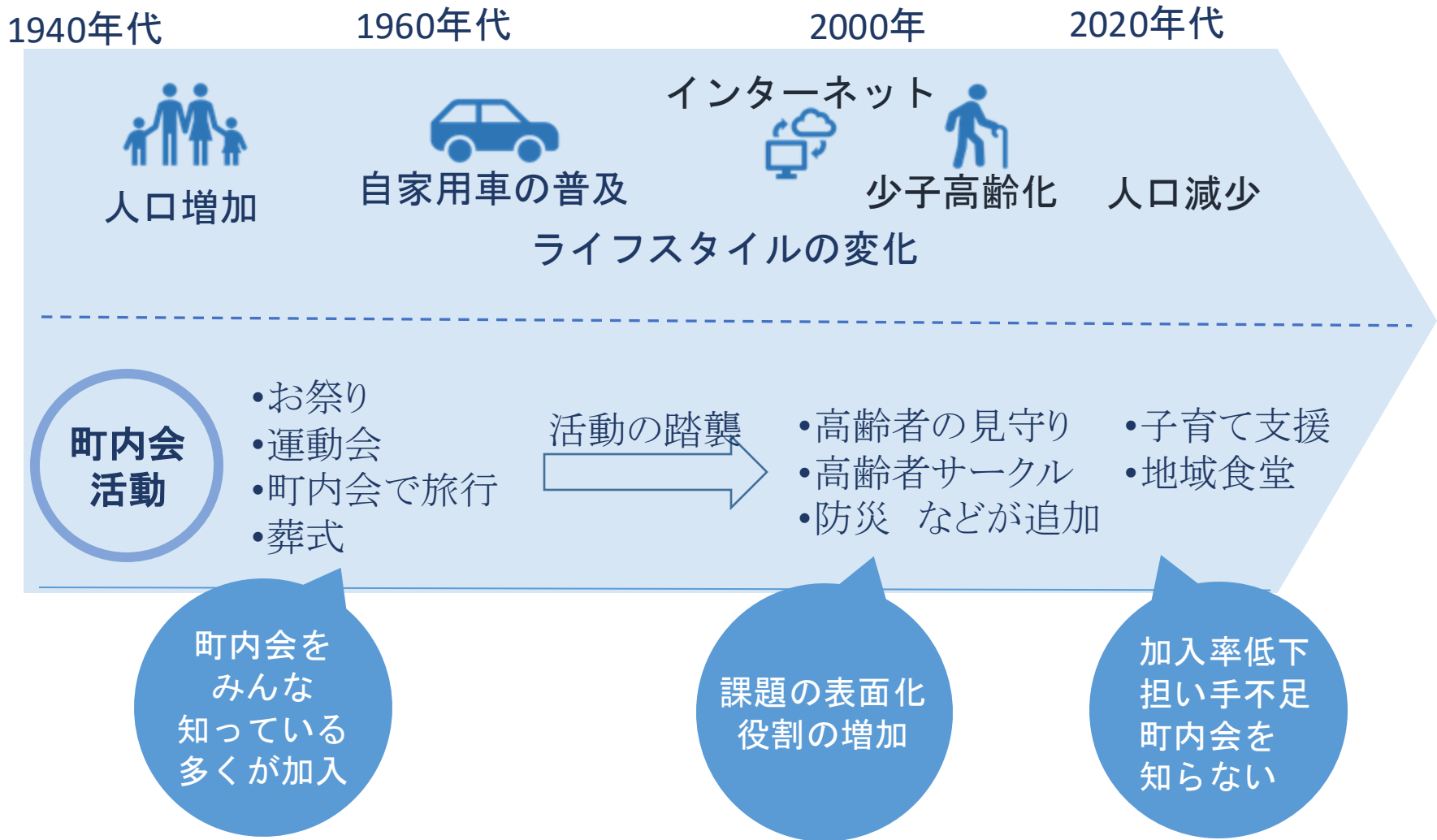


ある町内会の活動を試みしてみると

■ある町内会の年間行事

	主な活動	主な参加者
4月	町会総会・懇親会	役員・班長
5月	清掃・健康体操	清掃は住民/健康体操は高齢者
6月	お祭り	住民全体
7月	健康体操	高齢者
8月	カラオケ大会	高齢者
9月	防災訓練・秋祭り	住民全体
10月	清掃・健康体操	清掃は住民/健康体操は高齢者
11月	カラオケ大会	高齢者
12月	忘年会・日帰り旅行	住民全体・主に高齢者
1月	新年交流会	役員が中心
2月	健康体操	高齢者
3月	進学祝い金	子ども

(4) コミュニティの中心的組織・町内会の変遷



(5) 町内会役員と若い世代の違い

昭和の活動を継承

運動会
忘年会・新年会
バス旅行
高齢者クラブ
健康イベント
マスメディアで情報
回覧板・電話



町内会の役員世代

60代・70代・80代

楽しいことをしたい令和

ハロウィン
クリスマス会
キッチンカーイベント
子育てサロン・地域食堂
コミュニティカフェ
インターネットで情報
SNSでコミュニケーション



現役世代・若い世代・子育て世代

(6) こんな思い込みはありませんか？



たとえば
若い世代に対して…

- ・若い人は町内会に関心がないよね
- ・若い人は経験が少ないからわからないと思うけど…
- ・高齢者の方がこう言ってるんだから、従ったほうがいいよ



特定の性別に対して…

- ・女性が会計や書記をやった方がいいよ
- ・交流会の食事や子どもの世話は女性に担当してもらおう
- ・重要な意思決定は男性がした方がいいね



特定の職業の方に対して…

- ・会社員は忙しくて、町内会の仕事はしてくれないよ
- ・自営業や主婦・主夫は時間に余裕があるよね

思い込みは活躍の可能性を見逃してしまう

(7) 役員と住民のつながりが少ない

町内会役員

60代・70代・80代が中心

役員の数も多い

役員の担い手
不足が課題



- ・町内会全盛期(昭和)をイメージ
- ・高齢者による
高齢者向けの活動が中心
- ・若い世代は町内会に関心がないと思っている



つながりが少ない

地域コミュニティの住民



現役世代（～65歳）

コミュニティには関心



子育て世代

子育て支援へのニーズ



若い世代

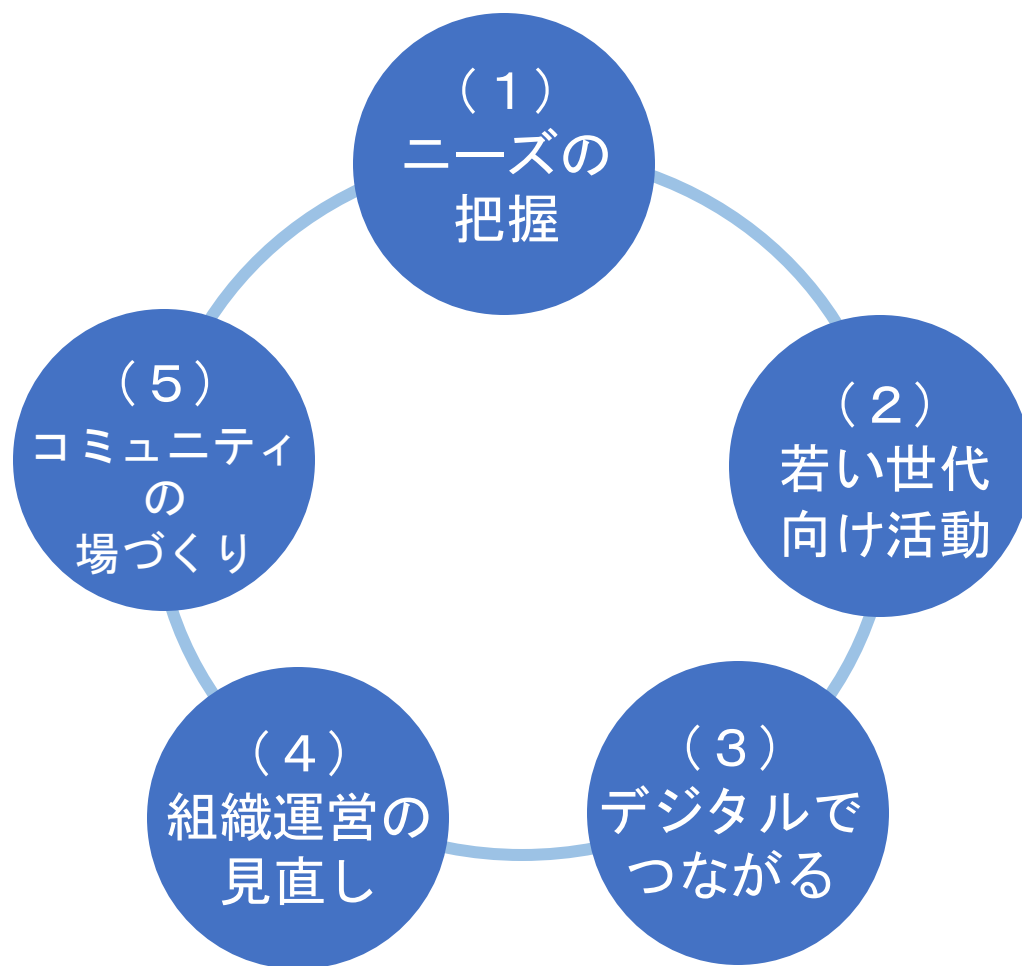
孤独感

コミュニティへの高いニーズ

2. 多世代が参加する町内会

(0) 多世代が参加する町内会に向けた5つの取り組み

- 多世代が参加する町内会に向けて、5つの取り組みを進めることが大切。



(1) ニーズの把握

①若い世代・現役世代のコミュニティに対するニーズ

育児中の住民



- 子育て中は孤独になりがち
- コミュニティのなかで子育てのアドバイスがあると良い

子育て世代



- 子ども向けイベントがあるとよい
- 子ども向けのクリスマス会などは手伝える

若い世代



- コミュニティは大切だと思う
- 孤独を感じている
- 適度な人のつながりは必要
- お祭りは楽しみにしている

②若い世代・現役世代の町内会運営に対する声

- 町内会運営に関する声としては以下のものが聞かれる。

育児中の住民



- 子育て中なので班長などにはできない
- Instagramなどで情報が欲しい

子育て世代



- 班長になると会費を集めるのが苦勞するので加入しない
- 振り込みとか電子決済にして欲しい
- InstagramやLINEで情報が欲しい

若い世代
現役世代



- 参加のきっかけがない
- 情報が届かない
- 加入の仕方がわからない
- 役員が高齢者ばかりで気が引ける

③インターネット上での町内会運営に対する声

「高齢者による高齢者のための町内会」になっている

町内会は閉鎖的なイメージ

(インターネットで見る閉鎖的な理由)

- 一部の役員で運営
- 一部の役員の私利私欲
- 現役世代は参加できない役員会
- 新参者、女性、若者の声を聞かない
- 上意下達
- 収支不透明
- ニーズにあっていない活動
- 高齢者のための活動が中心 など

(2) 若い世代向け活動の実施

① 仙台市南光台第二町内会

- ・ 南光川を愛する会を発足
- ・ 町内会で川の清掃を実施
- ・ 中学生や高校生を含めた多世代が参加
- ・ 清掃の案内には「中学生・ご家族さまでの参加を歓迎します」、「若い世代の参加も歓迎します」とメッセージ
- ・ 活動時間を短縮して負担感を軽減
- ・ 参加者にはギフトカード(以前はお弁当を配布)



仙台市河川愛護会設立 50 周年記念誌より

②堺市錦綾（きんりょう）校区自治連合会

- ・ 連合会の役員は、高齢者と若い世代が半数程度。
- ・ 連合会の会長は、高齢者世代と若い世代のつなぎ役も行なっている。
- ・ つつじの花見の会のマグロの解体ショーやハロウィンイベント、月見の会、eスポーツもあるスポーツカーニバルなど若い世代の意見を取り入れながら活動を行なっている。



つつじの花見会のマグロの解体ショー



ハロウィンイベントを実施。多くの人が参加している。



地域の方々がアイデアを出し合い、綱引きやグラウンドゴルフ、ヨガ、eスポーツなど老若男女問わず参加できる競技が行われた。

③ 札幌市宮の森中央町内会

- ・ 宮の森中央町内会では、若手の意見を取り入れ、秋祭りをオータムフェスタにリニューアル。
- ・ 町内会による焼き鳥などの提供に変えて、キッチンカーを誘致。
- ・ 地域の子どもたちのブラスバンドの演奏などを行った。
- ・ これまで参加していなかった若い世代が足を運んでくれて、これまで以上のにぎわいがあった。
- ・ 賃貸住宅に住む若い世代の町内会を知ってもらうきっかけとなっている。



④川崎市高津区 向台昭和自治会

- 若い世代の関心が高い、フリーマーケットを企画
- フリーマーケットを企画・運営するメンバーを募集して、町内会に関わってもらうきっかけにする



川崎市高津区では2つの町内会が合同でフリーマーケットを開催
参考: <https://www.townnews.co.jp/0202/2012/05/18/144890.html>
(タウンニュース 川崎高津区版 2012年5月18日号)



フリーマーケットの出店者の募集
チラシを未加入者に配布することで活動を知ってもらう

(3) デジタルでつながる町内会

- みんなが町内会を知っているとは限らない。
- 回覧板では情報は届いていないと考える。
- 情報が届いていないので、「町内会を知らない」「参加するきっかけがない」といった声が聞かれる。
- 若い世代にはSNSで様々な情報を入手する。

若い世代



- 子どもの頃、お祭りに参加した
- 今は町内会は知らない
- 回覧板は見たことがない
- 新聞は取っていないしテレビも見ない
- 情報はSNSから
- SNSでつながりコミュニティをつくることもある

●デジタル化するメリット

地域の人とつながりやすくなる

- ・ 役員同士の連絡が容易になる
- ・ 住民へ緊急連絡がしやすくなる
- ・ 一人暮らしの方の安否確認なども活用できる

どこからでもつながりやすくなる

- ・ 役員会などに直接出席できなくても、オンラインで参加できるようになる
- ・ 現役世代が町内会の会議などに参加しやすくなる

災害時などの情報共有がしやすくなる

- ・ 災害時などの緊急の情報共有しやすくなる
- ・ 過去の記録をデータで保存できる
- ・ 回覧板を見ない若い世代へ情報を伝えやすくなる

訪問の手間などを軽減できる

- ・ 電子回覧板は訪問の手間を軽減できる
- ・ 将来電子決済などを導入することで、会費の徴収などの手間を軽減できるようになる

●世代によって異なる利用するSNS

10代・20代前半



新聞・テレビは見ない
ネットで情報収集

20代・30代・40代



Instagramで情報収集

50代・60代・70代



Facebookが多い
コミュニケーションはLINE

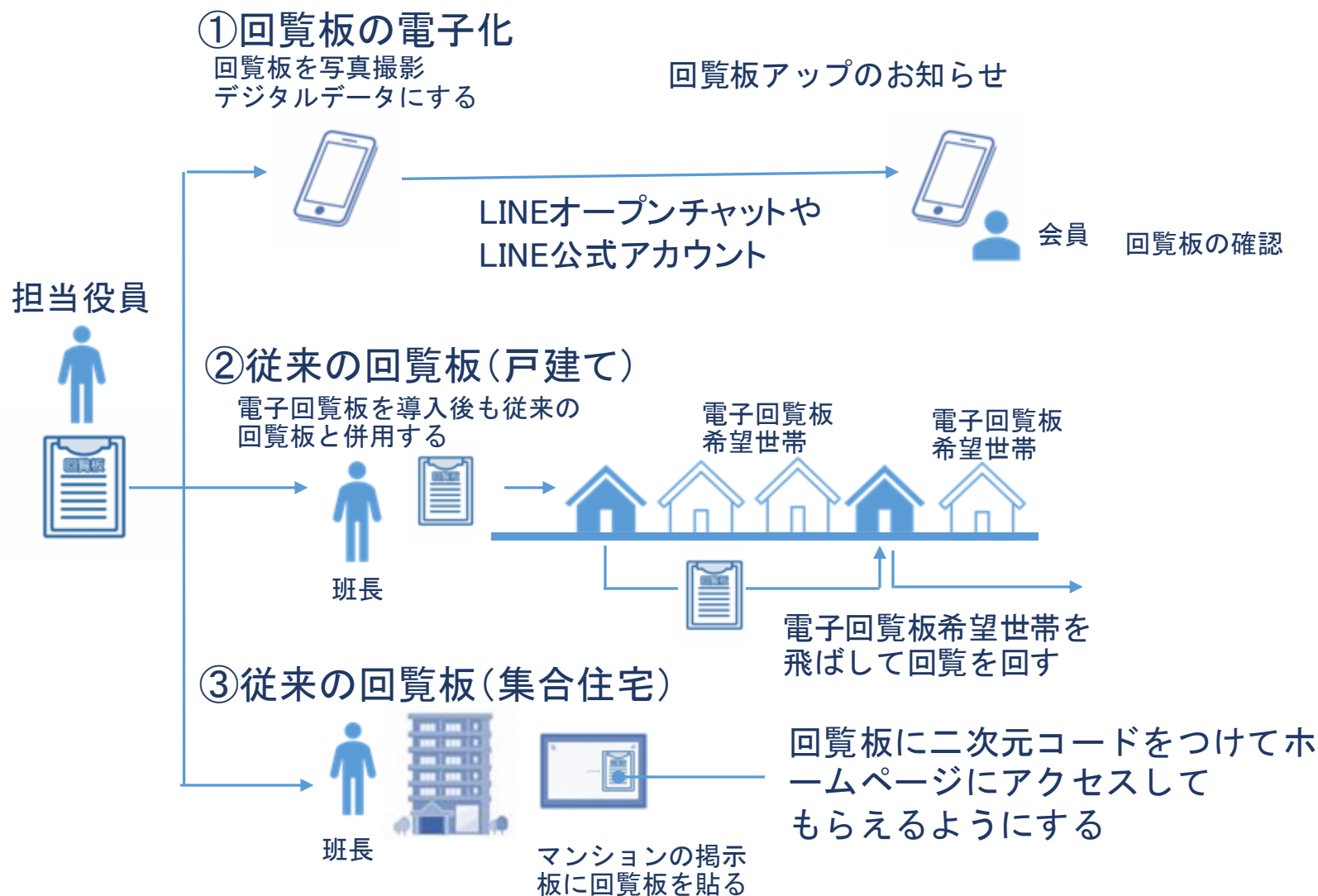
①SNSでの情報発信

- 回覧板では、地域住民に情報は、届いていないことを理解してもらったうえで、多様な手段で情報発信を行う。

●Instagramで町会の情報発信

- 若い世代には、Instagramで情報発信することも必要。

②回覧板の電子化導入イメージ



○仙台市青葉区錦ヶ丘9丁目町内会

- LINEグループとLINE公式アカウントで情報共有と発信
- 回覧板とLINE公式アカウントを併用

○LINE公式アカウント

- 管理者が回覧板を写真撮影して、それをアップしている。
- 登録者には右の画面のように届きます。
- 見たい回覧をタップすると拡大して見ることができる。
- スマートフォン上にデータが残っているので、あとで確認することもできる。
- ただし、データの保存期間は1年となっているので、データのバックアップは必要。

○仙台市若林区門田東町内会（デジタルで町内会運営）

- 役員は30代から50代が中心
- 負担軽減のためにLINE WORKS（非営利団体向けプラン）を導入
- LINE WORKSの導入にあたっては手順書を作成
- 役員から班長への周知などが一斉にできるようになった
- 公園のボランティア清掃などの参加者が増えた
- LINE WORKSで書類を保存



LINE WORKS トーク画面



LINE WORKS 利用手順書

(4) 町内会運営の見直し～オープンで参加しやすい町内会～

- ・ 現役世代も参加しやすい町内会運営に変えていく。

①誰もが参加できる

- ・ 総会や役員会などには誰もが自由に参加できるようにする。
- ・ 総会や役員会などは多くの方が参加できる時間帯に開催する。
- ・ 総会や役員会などはオンラインで開催することもこれからは必要。

②役員任期のルール化

- ・ 役員の任期を明確にして交代。
- ・ 役員の任期を決め、「輪番制」など入れ替わる仕組みも考えられる。

③役員定年制

- ・ 役員の定年制を導入する。
- ・ 役員の高齢化を防ぐと同時に、引き継ぎがスムーズに行うことができる。

④役員複数制

- 役員の負担を軽減するために、役員を複数制として代替わりがしやすいようにする。
- 前任者と新役員が重複する期間を設けることができ、精神的負担が軽くなる。



役員は複数制にして重複期間を設けることで継続性を確保できます

⑤各世代から役員を選出

- 各世代ごとに役員を選出することで、各世代のニーズに対応した活動や運営を行う。

⑥町内会役員の輪番制

- 役員の輪番制を検討する町内会・自治会も増えている。
- 輪番制では、新しい活動に取り組みづらいといった課題がある。
- 実行委員会などの仕組みと合わせて運用することが必要。
- 輪番制の導入にあたっては、以下のことを検討した上で実施することが望ましいと考えられる。

- 町内会活動の棚卸しを行い、役員の仕事を簡素化。
- 簡素化した仕事のマニュアルを作成。
- 様々な理由から役員ができない世帯をどうするか検討し、ルール化することが必要。

輪番制の役員に適度な報酬を支払っている町内会もある。

⑦広報部を組織し、情報公開

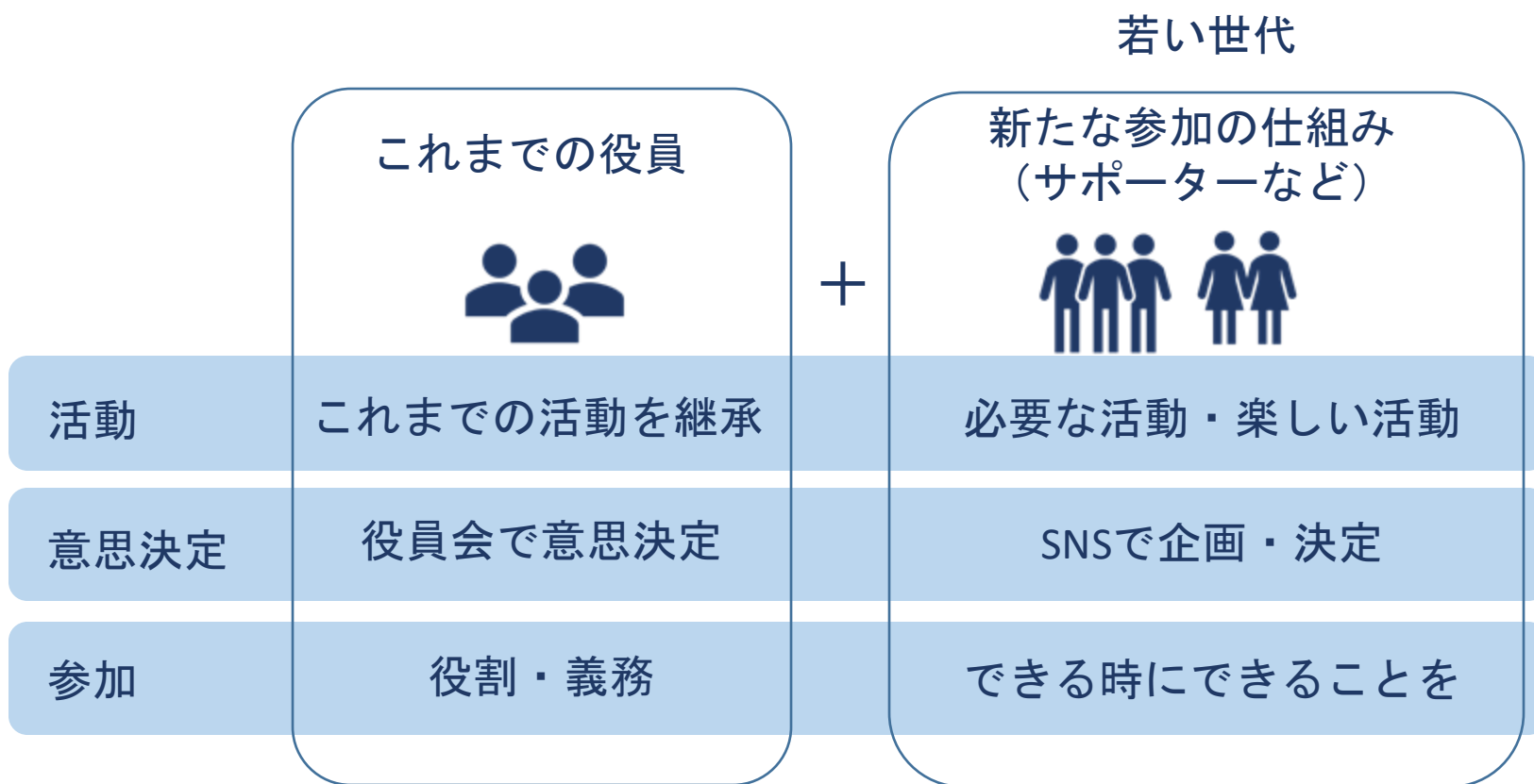
- オープンな運営のためには、会員に活動を知ってもらうことが必要。
- 多様な方法で情報発信を行うことが必要。
- 情報発信を担う広報部を組織する。
- 広報部では、回覧板だけでなく、Facebookページ、InstagramやLINE公式アカウントなどを活用して情報発信を行う。
- 総会はもちろん役員会をオンラインで開催し公開する。

広報部は高校生・大学生に依頼しよう

- SNSでの情報発信を自治会・町内会に住む高校生や大学生に依頼。
- 高校生や大学生に関わってもらえる最大のチャンスになる。
- 感謝状や証明書を必ず渡すようにする。

⑧サポーターの仕組みを作ろう

- 現役世代や若い世代が参加しやすい仕組みを作る必要がある。
- サポーター制度や実行委員会などの仕組みを作る。



●サポーターの仕組みを活かすために多様な参加の機会を用意



思い切り頑張りたい！



- 夏祭りなどの行事を企画からお任せ
- 仲間を集めて活動してもらう



誰かと一緒なら
参加できるかも



- 友だちを呼んでもらい、一緒に楽しく参加してもらう



家庭や仕事を優先して
いいなら、手伝える



- お祭りや清掃など人手が必要などきに声かけ
- 無理ない範囲で活動してもらう



得意なことなら
手伝ってみたい



- SNSの投稿やホームページの管理、広報物の作成など、得意なことを生かしてもらう

⑨実行委員会

- やりたい活動を気軽にお試しで取り組めるように「実行委員会制度」を位置づける。
- 輪番制を導入している町内会でも新しい活動始めるために位置づける。



クリスマス会の実施を目的としたチーム



町内会は応援団

行政とのつながりや予算の支援を

○仙台市 市名坂東町内会

役員的生活スタイルに合わせた無理のない柔軟な町内会運営

- 2008年4月から運営が開始された町内会
- 女性を中心に運営
- 役員会は月1回
- LINEグループを活用して意見が反映されるように工夫
- 役員の得意分野が生かせるように役割分担
- 役員の負担軽減から飲み会などは実施していない
- アンケート調査を経て集会施設を建設
- 集会施設で子育て支援「ずんだっこ」を運営、年間延べ1500人が参加
- クリスマス会や豆まきなども実施



(5) コミュニティの場をつくりましょう

- 多様で開かれた居場所、つながりがあるコミュニティにすることが多世代が参加する町内会に向けて大切です。
- 町内会館や集会施設を活用してコミュニティの場づくりを進めましょう。
- NPOや社会福祉協議会と連携して地域食堂などを開催することも多世代の参加に向けては効果的と考えられます。



①仙台市 西勝山町内会

さまざまなサークル活動を通したコミュニティづくり

- 「ソフトボール愛好会」「ゴルフ愛交換」「太鼓愛好会」などのスポーツや音楽などの趣味や出身地などの共通項で集まるサークルが多くあり、地域住民の交流のきっかけになっている。
- お祭りを手伝ってくれた人や清掃活動に参加した人などにサークルの参加について声掛けしている。
- サークル活動をきっかけにした日ごろからのゆるやかなコミュニティづくりの結果、町内会役員の担い手の発掘につながっている。



ソフトボール愛好会「ドリンカーズ」ファミリーデーの案内

②地区集会所を活用したコミュニティの場（札幌市豊平区旭水町内会）

- 役員の担い手不足や町内会行事に対する参加者の固定化が課題だった。
- 町内会館での居酒屋がスタート。
- 大学生なども手伝いに来てくれ、町内会に関わるきっかけになった。
- 年に6回、奇数月の第3土曜日に開催している。
- 賃貸住宅やマンションの居住者も数多く参加しており、そこから町内会活動をサポートしてくれるメンバーも増えている。
- 町内会の役員と女性部が中心となって運営している。



●コミュニティの場の要件

コミュニティの場の要件

- 気軽に行ける
- 適度な会話がある
- 徒歩圏内
- 新規の人も行きやすい
- まちにあった景観(デザイン)
- 明るい雰囲気を持っている
- 家のリビングのような場所



③閉鎖となった施設をコミュニティの場に活用 (札幌市西区西野連合町内会 ふくい会館)

- 連合町内会が閉鎖となった幼稚園の払い下げを受けて、リノベーションを行った。
- 多様な活動の場として広く利用されており、収益を生んでいる。



④地域で運営するコミュニティカフェ(岩手県花巻市「こっぽら土澤」)

- 空き家の活用からスタート。
- 地域の女性21名が日替わりシェフで運営するコミュニティカフェ。



日	火	水	木	金	土	日
11/1	11/2	11/3	11/4	11/5	11/6	11/7
11/8	11/9	11/10	11/11	11/12	11/13	11/14
11/15	11/16	11/17	11/18	11/19	11/20	11/21

11月上旬の予定

ご清聴ありがとうございました

ワークショップの進め方

ワークショップのテーマ

多様な世代が関われる町内会活動に
向けた取組のアイデア

グループで話し合うこと

【テーマ 1】 多世代との交流のきっかけづくり

- 多世代が参加する町内会活動に向けて、交流のきっかけになる取組はどのようなものが考えられるでしょうか。

【テーマ 2】 若い世代と一緒に進める新しい活動のアイデア

- 講座の内容を参考に、若い世代と一緒に取り組めそうな活動のアイデアをあげてみましょう。

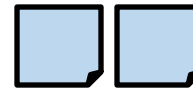
【テーマ 3】 多世代が参加しやすい町内会・自治会の仕組み

- 講座の内容を参考に、多世代(特に若い世代)が参加しやすい町内会・自治会の仕組みを考えてみましょう。

【シートのイメージ】多世代との交流のきっかけづくり



若い世代と一緒に進める新しい活動のアイデア



多世代が参加しやすい町内会・自治会の仕組み



おすすめ
アイデア3つ！



~~~のために  
~~する

~~~のために  
~~する

~~~のために  
~~する

A4の用紙に書いてください

# 本日のワークショップの進め方

- 各グループの中で、「進行役」「書記」を決めてもらい、グループでの意見交換を進めます。
- 「進行役」の方は、グループ内のメンバーから意見を出してもらうなど話し合いの進行を行います。
- 「書記」の方は、グループメンバーの発言を付箋紙に書き留めていきます。

# グループでの話し合いの進め方

① グループのメンバーで自己紹介 **5分**

おひとり 1分 をお願いします！！

② 各グループのなかで、「進行役」「書記」  
を

**2分**

決めてください。

※指名でも、立候補でも、じゃんけんでもいいです！

※ **2分間**で決めてください！

# 話し合いのときの約束事

- 話は短めに(話しすぎ注意)  
長くても2~3分/人くらいが目安です!!
- 違ってて当たり前(否定しない)
- 話をつなげる(話を楽しむ)
- アイデアは質より量